



Daiwa House®
Group

N e w s L e t t e r

2024年12月19日

報道関係各位

大和ハウスベンチャーズ株式会社
東京都千代田区飯田橋3丁目13-1
代表取締役社長 鈴木哲雄

■衛星データによる社会課題解決をサポート
投資先の「株式会社 Synspective」が東証グロース市場に新規上場

大和ハウスグループの大和ハウスベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：鈴木 哲雄、以下「大和ハウスベンチャーズ」）が運営する大和ハウスグループ投資事業有限責任組合※1（以下「“将来の夢”ファンド」）の投資先企業である株式会社 Synspective（本社：東京都江東区、代表取締役 CEO：新井 元行、以下「Synspective（シンスペクティブ）」）が2024年12月19日、東京証券取引所グロース市場に新規上場しましたので、お知らせします。

※1.大和ハウスベンチャーズが運営するコーポレートベンチャーキャピタルファンド



■Synspective について

Synspective は、「次世代の人々が地球を理解し、レジリエントな未来を実現するための新たなインフラをつくる」をミッションに掲げ、小型 SAR※2衛星コンステレーション※3から取得した衛星データとその他の多様なデータから、機械学習等を活用して必要な情報を抽出することで、目的に合わせて整理し、顧客の課題に対するソリューションを提供しています。今後、2020年代後半には30機の小型 SAR 衛星コンステレーションを構築することにより、広範囲、高頻度の地上観測を可能にするシステムの構築・運用を目指しています。

当社は、同社の技術により建設・不動産分野において、地盤沈下の危険性把握、洪水被害予測、災害発生時の迅速な状況把握等により、安全・安心な街づくり、保守管理に向けて、衛星データの活用が期待できると判断したため、2024年4月に「“将来の夢”ファンド」から Synspective に出資しました。

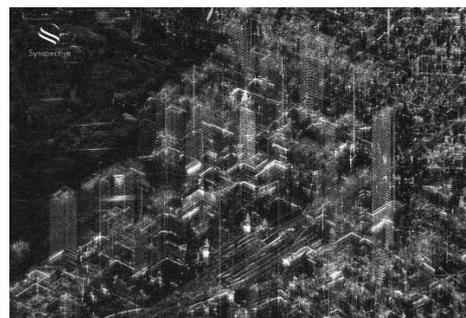
今後も「大和ハウスグループ“将来の夢”ファンド」は、スタートアップ投資を進めることで、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、既存事業の深化とともに、志を共にする事業パートナーとの協業による価値創出を進めていきます。

※2.地表に照射した電波（マイクロ波）の反射波を観測するセンサー「合成開口レーダー」を搭載した衛星

※3.特定の方式に基づく多数個の人工衛星の一群・システムのこと



【Synspective の小型 SAR 衛星】



【SAR 衛星による高分解能画像の撮像】

<投資先企業の概要>

会社名	株式会社 Synspective
本社所在地	東京都江東区三好 3-10-3
代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 新井 元行
設立	2018年2月
主な事業内容	小型 SAR 衛星の開発・運用、 衛星による観測データを活用したソリューションサービスの提供
ホームページ	https://synspective.com/

■ “将来の夢” ファンド（正式名：大和ハウスグループ投資事業有限責任組合）について

「“将来の夢” ファンド」は、大和ハウスグループの創業 100 周年となる 2055 年にありたい姿としてパーパスに掲げる「生きる喜びを、未来の景色に。」の実現に向け、社会にインパクトのある明日の社会に不可欠の（アスフカケツノ）事業に投資しています。

所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
ファンド総額	300 億円（キャピタルコール方式）
運用期間	2024 年 1 月 1 日～2055 年 12 月 31 日
運用会社	大和ハウスベンチャーズ株式会社
ホームページ	https://www.dhgfuturefund.co.jp/

■大和ハウスベンチャーズについて

会社名	大和ハウスベンチャーズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 哲雄
設立	2023 年 11 月
主な事業内容	CVC ファンドの運営、スタートアップ支援及び協業促進 上記活動と連携する事業開発の推進
ホームページ	https://www.daiwahouseventures.co.jp/

以 上

お問い合わせ先
大和ハウスベンチャーズ株式会社 03（5214）2020